

平成29事業年度

一般財団法人宇部市文化創造財団

事業計画書

平成29年2月

平成29事業年度 事業計画書

I 基本方針

本財団は、県内では後発組として出発し、後発ならではの利点を活かしながら、明確な指針や組織本来の使命のもと、市民の期待に応えるべく、1年ごと計画を立て、手探り状態で駆け抜けてきた。

時節の流れは早く、設立後3年をすでに経過したが、市では平成29年度から第二次文化振興ビジョンが動き出すことや、本財団も二つの会館の指定管理者として二期目の指定を目指していく時期にきていることから、平成29事業年度は、中長期的な視野に立って、次のことを重点的に取り組んでいく。

- 1 平成29年度から5年間を計画期間として市が策定する第二次文化振興ビジョンの施策と整合を図りながら、目標の設定や業務の計画・進行を行う。
- 2 東京2020オリンピック・パラリンピックに関する「文化プログラム」や「市制施行100周年」に係る文化事業の取組を視野に置くなど、国や市等の施策を踏まえながら、中長期の事業推進の指針となる計画の作成を進める。
- 3 宇部市渡辺翁記念会館及び宇部市文化会館の指定管理者として4年目を迎えるため、これまでの課題や問題点を抽出し、現状を評価・検証しながら、二期目の指定管理の獲得に向け事業計画書の策定に着手する。
- 4 宇部市渡辺翁記念会館が創建80周年を迎えるため、これを記念するためのステージ及び展示事業を実施するとともに、会館の沿革や魅力を積極的に情報発信する。
- 5 「市制施行100周年」に係る文化事業等、市及び財団が実施する事業などに参加や協力できる人材育成を進める。
- 6 財団キャラクターや友の会等の愛称をもっと活用し、財団事業のPRや友の会会員の拡充を図るとともに、高齢者・子ども・障がい者をはじめ誰もが参加できる事業を実施していく。
- 7 UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）本展開催年度なので、市と連携し、食の要素も取り込みながら市全体を盛り上げていく。

II 事業概要

定款第4条に掲げる6事業について、具体的に以下のとおり実施する。

1 文化行事開催事業

(1) ステージ事業

●自主文化事業【ステージ事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名/実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	会場	事業費
1	7/8 (土)	<p>【記念会館開館80周年記念事業】 「小野リサ ボサノヴァ・コンサート」 ボサノヴァブームの火付け役、若くして巨匠として名高く、ボサノヴァの第一人者として知られる小野リサのファンは、男女通して余暇を楽しみ、文化芸術に親しめることのできる世代が多い。ボサノヴァの神髄を堪能できる小規模編成で実施する公演。</p>	<p>【目的】あまり触れることのないジャンルであるが、密かなブームであるボサノヴァ公演を実施することにより、潜在的な顧客を開発することで、市民の文化に触れる機会を創出する事業。 【効果】舞台での公演に間近で触れることにより、感動の機会の創出と経験価値を高めることにつながる。ターゲットを友達同士、若い主婦、そのパートナーに据え、文化に親しむことの重要性を育むことにつながる。 【ターゲット】30～50歳代女性・男性</p>	記念会館	3,825
2	10/18 (水)	<p>【宝くじ文化公演】 【記念会館開館80周年記念事業】 〔第27回UBEビィナール ×まちじゅうアートフェスタ2017関連事業〕 「東儀秀樹×古澤巖×coba」 東儀秀樹、古澤巖、cobaが奏でる極上のサウンド。誰もが想像し得なかった雅楽器とヴァイオリンとアコーディオンとの奇跡の出会い。幅広いジャンルの音楽を、様々な音色を、様々なリズムで奏でる極上のコンサートをお贈りする公演。</p>	<p>【目的】通常は高額コラボレーション公演を、自治総合センターの助成金を獲得し低廉なチケット料金で実施することにより、文化施設から遠のきがちな市民へも足を運び鑑賞する機会を創出する。 【効果】団塊の世代の男性顧客や、子育てを終えた主婦層をターゲットに、低廉な価格で質の高い公演の鑑賞の機会を提供することにより、文化の愛好者の拡大につながり、心豊かな生活ができるまちづくりにつながる。 【ターゲット】50～70歳代男性・女性</p>	記念会館	835
3	10/22 (日)	<p>【記念会館開館80周年記念事業】 〔第27回UBEビィナール ×まちじゅうアートフェスタ2017関連事業〕 「寺井尚子カルテット」 ジャズ・ヴァイオリンの女王として不動の人気を誇る、寺井尚子。情熱的でエネルギッシュなプレイと、哀愁漂うしとやかな音色、そして凜とした意志の強いたたずまいに、多くの人々が魅了されている公演。</p>	<p>【目的】昨年度も実施したジャズ公演を継続して実施することにより、リピーターの育成を目的とする。 【効果】鑑賞者人口の拡大につながり、また芸術文化振興基金の助成金を活用することにより、少しでも鑑賞機会を創出しやすい価格設定で実施することで、財団が提供する事業の幅が広がる。 【ターゲット】30～70歳代の女性・男性</p>	記念会館	4,157

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	会場	事業費
4	日程調整中	<p>【共催事業主催：宇部好楽協会】 「フォレストコンサート 2017 in 宇部」 日本を代表するコーラスグループ。「日本の素晴らしい風土と文化を歌い継ぐ」をテーマに、「BS 日本こころの歌」のレギュラーとして誕生。童謡・唱歌、さらに明治から平成までの「思い出の名曲」を楽しめる公演。</p>	<p>【目的】宇部市内の文化団体と連携し、共催事業として実施することにより、アーティストの幅が広がるとともに、鑑賞機会の少ない層への普及啓発となり、文化の愛好者の拡大につながる。</p> <p>【効果】共催事業の実施により、実施事業のバリエーションが広がり、ひいては友の会の会員の増加とより幅広い文化の享受につながる。</p> <p>【ターゲット】20～70 歳代の女性・男性</p>	記念会館	—
5	30年1月(予定)	<p>「落語公演」 演者及び演目鋭意選定中</p> <p>大衆芸能ではあるものの、文化に触れるきっかけとなりやすい伝統的な話芸である「落語」の公演。</p>	<p>【目的】落語会でも知名度が高く、また実力も兼ね備えた噺家の公演を実施し、臨場感あふれる生の舞台の醍醐味を味わう機会を提供することにより、鑑賞機会の提供と古典芸能・大衆芸能ジャンルの鑑賞者拡大を図る。</p> <p>【効果】文化に触れる機会が少ない世代や会館からも足の遠のいている層の来場により、文化の愛好者の拡大につながる。</p> <p>【ターゲット】30～70 歳代の男性・女性</p>	記念会館 1階使用	2,500
6	未定	<p>【共催事業 主催：宇部音楽鑑賞協会】 アーティスト鋭意選定中</p>	<p>【目的】宇部市内の文化団体と連携し、共催事業として実施することにより、アーティストの幅が広がるとともに、鑑賞機会の少ない層への普及啓発となり、文化の愛好者の拡大につながる。</p> <p>【効果】共催事業の実施により、実施事業のバリエーションが広がり、ひいては友の会の会員の増加とより幅広い文化の享受につながる。</p> <p>【ターゲット】20～70 歳代の女性・男性</p>	記念会館	—
7	未定	<p>【記念会館開館 80 周年記念事業】 「大型アーティスト公演」 鋭意交渉中</p> <p>市民からの要望が多い知名度の高いアーティストを誘致し、質の高い舞台公演を実施する。</p>	<p>【目的】ホールの特性を活かした国内で活躍するアーティストの公演を実施し、よりよい鑑賞機会の提供を図る。</p> <p>【効果】宇部市での実施があまりないアーティスト公演を行うことにより、市民の文化に触れる機会が増え、経験価値が高まり、心豊かに過ごすことのできるまちづくりへとつながる。</p> <p>【ターゲット】市民全般</p>	記念会館	6,501

●市受託事業【ステージ事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	8/5 (土) 6 (日)	「全国小・中学生 箏曲コンクール in 宇部」 【継続事業】	全国の小・中学生を対象にコンクールを開催し、伝統文化である箏曲の普及・振興を図るとともに、地域文化活動の促進や子ども達の豊かな人間性と情操の育成を図る。	文化 会館	1,015
2	12月 中旬	〔第27回UBEビエンナーレ ×まちじゅうアートフェア2017事業〕 「第九『歓喜の歌』で HAPPY END 2017 IN 渡辺翁記念会館」 【継続事業】	1年の締めくくりに、山口県にゆかりのある出演者等によるステージのほか、その方達と地元オーケストラ、市民から一般公募で結成された合唱団と一緒に「第九」を大合唱する。今年度は次世代育成のため、子どもたちの参加できる機会を創出する。	記念 会館	285
3	9月～ 12月 (予定)	〔第27回UBEビエンナーレ ×まちじゅうアートフェア2017事業〕 「宇部市『芸術祭』」 【継続事業】	市民音楽祭、吟剣詩舞道、邦楽演奏、演劇、日本民謡・奇術、文連フェスティバルなどを各種文化団体が実施。	文化 会館 ほか	257

(2) 展示事業

●自主文化事業【展示事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	未定	【記念会館開館80周年記念事業】 〔第27回UBEビエンナーレ ×まちじゅうアートフェア2017関連事業〕 【共催事業 主催:宇部の村野建築を考える会】 「村野藤吾模型展 ×専門研究者による講演会」 【新規事業】	29年度に開館80周年を迎える記念会館の設計者である建築家村野藤吾の模型展を記念会館・文化会館で共同実施するとともに、専門家による村野建築に関する講演会を協力して実施する。開館80周年を市民全体で祝い、改めて会館の沿革や魅力を再確認いただくことで、会館や地元に対する誇りや愛着を持つことにつなげる。	記念 会館 ・ 文化 会館	200

●市受託事業【展示事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	9月～ 12月 (予定)	〔第27回UBEビエンナーレ ×まちじゅうアートフェア2017事業〕 「宇部市『芸術祭』」 【継続事業】	写真、手工芸、絵画・彫刻、詩、陶芸、短歌、華道、木彫篆額、俳画、俳句、書道、古典園芸、ばら、ラン、盆栽などの展示会を各部門で実施。	文化 会館 ほか	1,341

2 文化活動支援及び人材育成事業

(1) 活動支援事業

●【文化事業協力・広域連携事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	通年	「若手音楽家育成」 事業支援 【継続事業】	市内でブラスバンド等を行っている児童・生徒たちの技術のレベルアップを図る機会を創出したり、「宇部ジュニア・アンサンブル」とコラボ演奏するなどの方法で若手音楽家の育成を図る。	記念 会館 ほか	300
2	未定 (再掲)	【記念会館開館80周年記念事業】 〔第27回UBEビジュアル ×まちじゅうアート展2017 関連事業〕 【共催事業 主催：宇部の村野建築を 考える会】 「村野藤吾模型展 ×専門研究者による講演会」 【新規事業】	29年度に開館80周年を迎える記念会館の設計者である建築家村野藤吾の模型展を記念会館・文化会館で実施するとともに、専門家による村野建築に関する講演会を協力して実施する。開館80周年を市民全体で祝い、改めて会館の沿革や魅力を再確認いただくことで、会館や地元に対する誇りや愛着を持つことにつながる。 *財団自主文化事業の【展示事業】でもあります。	記念 会館 ・ 文化 会館	200
3	7/1 (土) 2 (日)	【共催事業】 【記念会館開館80周年記念事業】 「KENTO MORI ライブショー」 事業支援 【新規事業】	「KENTO MORI チャリティーダンスイベント」実行委員会が行う事業を協力して実施する。地元のダンス文化の活性化と中・高校生を無料招待するとともに、ワークショップを実施することで、さらなる活動者の底辺の拡大につながる事業。	記念 会館 ・ 文化 会館	5,300
4	未定	「演劇フェスティバル」 事業支援	演劇活動者の交流と創造を支援する事業。市民の演劇活動への参加と、市民の鑑賞の機会とまちの賑わいの創出につながる。 *27年度は演劇ショートストーリーで演劇制作を、28年度はアートマネージャー養成講座第2弾番外編「戯曲を読む会 in 宇部」で活動者のレベルアップを行った。	未定	100
5	適宜	「記念会館活用・活性化 PR事業」 【継続事業】	「渡辺翁記念会館」の歴史的価値と建築物としての価値（重要文化財）を発信する事業。 *特に開館80周年となるため、市民に改めて記念会館の素晴らしさを認識してもらい取り組みを行う。市民をはじめ、市外業者等にも積極的に宣伝していくため、記念のパンフレットを作成する。 *市と連携して、会館の歴史、魅力を発信できる展示を行う。 *「ロビー・コンサート事業」や「ロビー・ダンス事業」等含む。	記念 会館	500

●【市民文化活動支援事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	事業費
1	募集 4月 以降 (予定)	「市民文化活動支援事業」 【継続事業】 記念会館及び文化会館を主として、市内で開催される文化事業で、財団が定める要件を満たす事業を対象に、当該事業を実施する団体に対し、助成金（予算の範囲内）の交付やチケット販売・広報の支援を行う。 今年度は、記念会館 80 周年であるため、記念会館で開催される事業に比重を置く。	【目的】先人が育んできた宇部独自の文化活動や次代を担う青少年等への人材育成に対して支援し、市民と財団が協働で文化によるまちづくりを推進する事業。 【効果】人材育成や他団体とのコラボレーション等、特色ある事業に対して助成することにより、次世代の青少年の健全育成や文化活動団体の育成につながる。 【ターゲット】 宇部市内の文化活動団体	1,000

(2) 人材育成事業

①文化活動者等市民に対して

●【人材育成・創造事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	会場	事業費
1	6/18 (日) 前後 (予定)	「音楽の祭日 2017in 宇部」 【継続事業】 26 年度からの継続事業。音楽を通じて文化振興及び活動者の育成を図る。28 年度は食等をからめて実施することにより、記念会館及び中心市街地の賑わいを創出するとともに、開催期間を長めに設定し、他会場での実施団体を増やした。浸透してきた市民参加事業を 29 年度も継続して拡充していく。	【目的】音楽を通じて文化振興と活動者の育成及び鑑賞者の鑑賞機会の創出を図る事業 【効果】出演者は他団体との交流や新しい公演事業への発展があるとともに、来場者は新たなジャンルの音楽に触れる機会を享受でき、音楽鑑賞者の育成、音楽文化の底辺の拡大、将来の音楽を通してのまちづくりにつながる。 【ターゲット】市民全般	記念 会館 ほか	700
2	7/15 (土) 16 (日)	「青少年のための レクチャーコンサート」 【新規事業】 世界的ヴァイオリニスト渡辺玲子によるレクチャーコンサート。子どもたちが音楽をより深められるように渡辺玲子が毎回テーマを選び、曲に秘められたエピソードや作曲家のメッセージを読み解きながら名器ガールネリで曲を奏でる解説付きの演奏会。小学生・中学生を無料招待する。	【目的】音楽を通して文化振興と鑑賞機会の創出を図る。 【効果】学校の音楽の授業で触れるクラシック音楽をレクチャー形式でより深く楽しむことにより、児童・生徒がより音楽に興味関心を抱くことで、将来の鑑賞者の育成につながる。 【ターゲット】 青少年・市民全般	記念 会館 ほか	600

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	会場	事業費
3	6月 ～ 30年2月 (予定)	楽器体験事業 【新規事業】 「ジャンベ・ワークショップ」 アフリカの伝統的な打楽器であるジャンベを使った楽器体験型のワークショップ。全10回程度の練習を積み、最終日には他の楽器との発表会を行うなど、参加者が達成感を味わえるように実施する。	【目的】楽器体験を通して活動者の育成とともに、地域の文化振興と参加意識の醸成を図る。 【効果】継続的なワークショップ実施で普段触れる機会の少ない打楽器を演奏することにより、参加者の達成感を高めるとともに、発表の機会も設けることにより得た達成感から、音楽鑑賞者の育成、音楽文化の底辺の拡大、将来の音楽を通してのまちづくりにつながる。 【ターゲット】 市民全般	記念 会館 ほか	300
4	日程 調整中	次世代育成事業 【継続事業】 「鑑賞&ワークショップ体験 オペラでららら（仮称） 王子さま・お姫様になるためのワークショップ」 昨年度は「生音楽の楽しさ」を楽しめる参加型の音楽公演を実施。今年度は、昔のヨーロッパの王子や王姫が必ず習っていた音楽やダンスを鑑賞するとともに、一緒に歌い・踊り体験する参加型の公演。	【目的】次代を担う子どもたちに、良質な文化を鑑賞・体験する機会を提供することで心豊かに健やかに育っていく環境整備を図る。 【効果】鑑賞公演とワークショップを連動させた事業を実施することにより、文化がより身近なものになり、また、親子・家族での感動を共有することで経験価値が高まり、ひいては心豊かに生活できるまちづくりにつながる。 【ターゲット】 5～30歳代の親子・家族	記念 会館	1,800
5	9月 ～ 11月 (予定)	バリアフリーアート事業 【継続事業】 『音楽を 観て・聴いて・ 楽しんで』 幼児から高齢者、障がいを抱える方を含め誰もが楽しめる「音楽・書道・美術・写真・手工芸」等の文化事業を実施する。今年度は、「生音楽」を観て・聴いて・楽しむことのできる音楽公演を開催予定。	【目的】「音楽・書道・美術・写真・手工芸」等、市民のニーズや生涯学習の多様化にも対応できる文化事業を実施する。 【効果】文化事業等への参加を通じて、感動や出来る喜びを体験し、経験価値が高まることで、心豊かに生活できるまちづくりにつながる。 【ターゲット】 市民全般	記念 会館 又は 文化 会館	650

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	会場	事業費
6	9月 ～ 11月 (予定)	〔第27回UBEビュカレ ×まちじゅうアート2017 関連事業〕 「宇部市総合戦略 アートによるまちづくり 『アーティスト・イン・ レジデンス』」連携事業 【継続事業】 宇部市の認知度をアップし、交流人口や移住・定住人口の増加を図るため行われる事業のひとつ「アートによるまちづくり『アーティスト・イン・レジデンス』」。その連携事業として、アーティストによるワークショップを実施し、子ども達をはじめ市民がアートに接する機会を創出する。	【目的】 宇部市が実施する「アーティスト・イン・レジデンス」に連動して、アーティストによるワークショップ等の関連事業を実施する。 【効果】 アーティストとの交流や教育活動を通じて市民の文化への興味関心がさらに深まり、経験価値が高まることでより豊かな生活及び社会活動につながる。 【ターゲット】 市民全般	市内	200
7	通年	「宇部市渡辺翁記念会館 開館80周年記念関連事業」 今年開館80周年を迎える宇部市渡辺翁記念会館（以下「記念会館」という）。記念会館が歩んできた歴史を再認識することにより、市民の地元への愛着心を育む。	【目的】 記念会館が歩んできた歴史が分かる冊子の作成や、ホールの音響効果の特性を活かした事業の実施により、文化的価値を再認識するとともに、市民の地元への愛着心を育む。 【効果】 市民がシビックプライド（地元への誇りと愛着心）を持つことにつながり、ひいては文化による地元の活力につながり、豊かな生活及び社会活動につながる。 【ターゲット】 市民全般	記念 会館	2,000

●市受託事業【普及・育成事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	通年	「子ども伝統文化 わくわく体験学校」 【継続事業】	華道、詩吟、舞踊など伝統文化のほか、多彩なジャンルの体験教室を開催。	文化 会館他	77
2	8月(予定)	「箏曲 ワークショップ」 【継続事業】	8月に開催する「全国小・中学生箏曲コンクール in 宇部」の実施に合わせ開催。	文化 会館他	50
3	9月～ 1月(予定)	「子ども文化夢教室」 【継続事業】	レベルの高い指導者による、学校でのアウトリーチ・ワークショップ型文化教室を開催。	各小 学校	652

②財団職員に対して

- 障がい者への差別解消や自主的な配慮、その他高齢者や子ども等に対する細やかに配慮することはもちろん、全ての市民、顧客に対して「おもてなし」の心が伝わる資質を醸成する。
- 職員全体が組織の健全・円滑な経営感覚をもちながら、常に予算等の進捗管理を念頭に置いて、業務に取り組んでいく態勢を構築していく。
- 職員自身が講師になっての内部研修や、課題を絞ってのワーキンググループの創設、職員ミーティングの拡充等を図り、組織全体の意思疎通や能力の向上を進めていく。
- 引き続き全国公立文化施設協会や山口県公立文化施設協議会が実施する研修や、文化庁の講師派遣型支援事業の活用を図り、安価で効率的な育成を進める。

【具体的な研修事例】

- ◇全国劇場・音楽堂等研究大会
 - ◇全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会
 - ◇全国劇場・音楽堂等技術職員研修会
 - ◇中四国支部業務管理研修会
 - ◇劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援（派遣型）事業 等
- 防犯・防火・地震対策、会館利用者に対する安全対策、障がい者対応、関係法令等の内部研修会や外部講師による非常時等の危機管理研修を実施する。

3 意識啓発及び情報発信事業

(1) 意識啓発事業

- 文化活動団体や地元企業団体等の会合に積極的に参加し、財団のPRや友の会への勧誘、自主文化事業の宣伝を行い、財団の支援者や理解者を増やしていく。
- テレビやラジオに積極的に出演し、財団実施事業等を宣伝し、啓発の効果を高めていく。
- 財団友の会
 - ・財団のキャラクター（ぶんザイ・そうゾウ）や、友の会の愛称「てなが隊」をもっと活用し、市民等による財団への興味を促進していく。
 - ・財団独自のグッズ等を作成し、友の会増員の仕組づくりに利用していく。
 - ・会員割引や先行予約ほか、入会特典の再検討を行い、より勧誘しやすい制度を構築し、新たな加入者とともに、継続者の強化を図る。
 - ・実施する自主文化事業等の魅力アップや効果的なPRを行うことで、友の会のメリットを高めていく。
- 財団市民サポーター
 - ・サポーターの愛称「おなが隊」をもっと活用し、サポーターの役割や意義を浸透させ、市民の関心を高め、賛同者や加入者を増やす。
 - ・加入者との連絡体制を密にし、積極的に情報提供していくことで、イベント時の参加者をもっと増やしていく。
 - ・財団職員とサポーターとの意見交換の場や合同の研修会を行うことで、活動内容に充実感や達成感を得られる仕組づくりを進める。

(ア) 友の会 会員数の現状（1月末現在）と目標／実績

事業年度 種類	現在の 会員数	平成 29 目標 会員数	平成 27	平成 26	平成 25
個人会員	357人	420人	323人	167人	61人
法人会員	29団体	45団体	25団体	14団体	6団体

(イ) 財団市民サポーター数の現状（1月末現在）と目標／実績

現在の サポーター数	平成 29 事業年度 目標サポーター数	平成 27 事業年度	平成 26 事業年度	平成 25 事業年度
52人	60人	47人	39人	31人

(2) 情報発信事業

●メディアミックス

新聞・雑誌・ラジオ・テレビ・ネット上のSNSのほか、理事長記者会見など事業内容に応じたメディアを組み合わせ、効果的な情報発信を行う。

●情報誌「イベントガイド」や「イベントインフォメーション」

トップページをはじめ、掲載内容や見た目を工夫し、市民等が興味を持ち、実施事業等の鑑賞や参加につながる誌面作りを行う。

●ホームページ

障がい者をはじめ、高齢者や子どもなど誰でも分かり易い表示に努め、財団自主文化事業だけでなく、記念会館・文化会館等で実施されるイベントをタイムリーに情報提供していく。

●その他

無料で掲載できる冊子等の積極的な活用や、他の組織の情報誌やホームページ等への掲載利用を行い、効果的な発信を探っていく。

4 調査研究及び資料収集事業

(1) 調査研究事業

●今後の財団を安定・円滑に運営していく上で指針となる中長期的計画を作成するための効果的な進め方を研究する。

●利用者からのアンケート結果や、他都市の財団や文化施設などからの情報をもとに、マーケティング分析を行い、自主文化事業の選定や安定的な財団運営方法を研究する。

●ペアチケットやグループチケットの設定や、障がい者等に配慮したチケット販売方法を研究し、利用者の購買意欲向上につなげる。

●単なる文化事業の提供にとどまらず、記念会館や文化会館等の劇場が社会の中で求められる積極的な役割としての社会包摂の取り組み方や、文化と食、健康、スポーツ、福祉などとの融合について研究していく。

(2) 資料収集事業

●財団運営の中長期的な指針となる計画作成のため、全国で作成している先進的な他財団の事例の収集を進める。

●県内外の大手プロモーター等との日頃からのコンタクトや積極的な直接訪問により、信頼関係づくりの構築とともに、有益な情報収集を図る。

●県内及び近隣の財団との間で、実施する自主文化事業が重ならないよう調整したり、収益が見込める事業やアーティストの情報を収集することで安定した事業運営を行う。

●全国公立文化施設協会や山口県公立文化施設協議会をはじめ、助成金支援を実施している団体等からの情報をこまめに収集し、市民や文化活動団体へその情報を効果的に提供する。

5 施設管理運営事業

- ① 記念会館及び文化会館の指定管理者として第二期目の指定を得るための事業計画書の策定に着手する。
- ② 記念会館が創建80周年を迎えることから、会館の沿線や魅力を積極的に宣伝するとともに、記念の冊子等の作成をすすめていく。
- ③ 両会館の修繕箇所の洗い出しや対策を検討し、優先順位を付けて対応していけるよう、市と協議を重ね、中長期的な改善方針を明確にしていく。
- ④ 全国の文化行事において事故が多発していることから、職員や組織全体での危機管理対策を行うとともに、利用者への安全管理対応の喚起を促進し、事故防止の徹底を図る。
- ⑤ 障害者差別解消法の施行に基づき、障がいがある方等も利用しやすいよう施設のバリアフリー改修に努め、施設改修が難しい箇所は職員による対応で補う。
- ⑥ 文化事業のポスター掲示やチラシ設置、会館ホームページへの掲載により、広く市民に文化の情報を提供するとともに、プレイガイド機能の充実を図り、利用者の利便性を高める。
- ⑦ 省エネやリサイクル、館内照明のLED化など環境にも配慮しながら、経費の節減に取り組む。
- ⑧ 利用者には丁寧な説明や専門的なアドバイスに努め、要望等に対して満足度が高められるよう積極的にコーディネートしていく。
- ⑨ 引き続き、記念会館については、大ホールだけでなく、ロビー等も含めた活用を財団自身が示し、市民や文化団体による利用を促進していく。
- ⑩ 第二次文化振興ビジョンの目標と整合させ、記念会館においては、利用率50%を維持しながら、文化会館及び記念会館において、次の目標を置く。

	29年度目標	27年度実績
記念会館・文化会館 延べ来場者数	155,000	153,896
記念会館 公演等回数	100	98
文化ホール 公演等回数	105	102

●【記念会館 利用促進（活用活性化）事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	会場	事業費
1	4月 ～ 8月	<p>◆参加型事業 「記念会館をもっと知ろう！」</p> <p>①中学校単位にて実施【継続事業】 ②夏休み・親子・家族向け【新規事業】</p> <p>身近にありながら、あまり知らない「渡辺翁記念会館」。その歴史と建築物としての魅力を「劇場・ホール探検ツアー」として体験する。また西日本一の音響として名をはせるホール内で音の響きを体験するとともに、参加者が将来の活動者になれるような感動体験の演出も組み込む事業。</p>	<p>【目的】ホールの特性と文化的価値の再認識を促す事業。</p> <p>【効果】普段とは違うホール空間を見学し、音の素晴らしさ等を体験することで、感動を共有し、地元宇部への愛着とアイデンティティーが再確認できるとともに、自己肯定感へとつながる。また、経験価値が高まることで鑑賞者や活動者へとつながっていく事業。</p> <p>【ターゲット】 ①市内中学生 ※中学校単位にて受入・実施 ②小学生などの親子・家族</p>	記念会館及びロビー	40
2	不定期	<p>◆参加型事業（健康文化事業） 「記念会館をもっと知ろう！ そして心も体も健康になろう」</p> <p>【継続事業】</p> <p>身近にありながら、あまり知らない「渡辺翁記念会館」。普段あまり見ることのない記念会館の奥まで入っていただき、その歴史と建築物としての魅力を「劇場・ホール探検ツアー」として体験する。また西日本一の音響として名をはせるホール内で音の響きを体験いただく事業。</p> <p>探検後は、健康体操を行ったり一緒に歌を歌ったりして、心も体もリフレッシュしていただく。</p>	<p>【目的】ホールの特性と文化的価値を再認識していただくとともに、心と体をリフレッシュしていただく事業。</p> <p>【効果】普段とは違うホール空間を見学し、音の素晴らしさ等を体験することで、感動を共有し、地元宇部への愛着を強めていただく。普段入ることの少ない場所で、皆で、心も体も健康な気持ちになっていただく。</p> <p>【ターゲット】 高齢者・各種施設入居者等</p>	記念会館及びロビー	40
3	8月 ほか	<p>◆体験型事業 「スタインウェイを弾こう！」</p> <p>【継続事業】</p> <p>普段弾くことの少ないスタインウェイのグランドピアノを、記念会館のステージ上で30分、満喫して弾くことができる事業。今年度も大人対象日と子ども対象日と分けて実施する。好評のため記念会館の空き状況を見て、年に数回行う。</p>	<p>【目的】ホールの特性と文化的価値の再認識を促す事業。</p> <p>【効果】普段とは違うホールの空間で、スタインウェイグランドピアノを体験することで、青少年等が文化の鑑賞者や活動者へとつながっていく事業。</p> <p>【ターゲット】 市民全般</p>	記念会館	36

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	会場	事業費
4	4/30 (日)	「コスプレ・イベント」(仮称) 【継続事業】 記念会館の認知度を高める。また、遠のいている若者層をターゲットに実施することで記念会館の魅力を再認識いただく事業。	【目的】ホールの特性と文化的価値の再認識を促す事業。 【効果】サブカルチャーに興味のある若者をターゲットに事業を行うことで、普段あまり足を運ぶ機会の少ないホールへの若者参画をねらう。記念会館の建造物としての価値が普段とは異なる客層に周知できるとともに、別の角度からの記念会館の魅力を参加者に発見いただく事業。 【ターゲット】 10～30歳代の女性・男性	記念会館及びロビー	365
5	適宜	「ロビー・コンサート in 渡辺翁記念会館」 【継続事業】 ロビーを利用して開催する音楽コンサート。ホールでの音楽公演等に興味や期待感を誘うためのプレイベント的に開催したり、ホール利用を躊躇している人に手軽に利用できることを周知するために実施。参加者も気軽に足を運んでいただけるもの。出演者は地元出身やゆかりのあるアーティストを起用することで、地元人材の活用も図る事業。	【目的】ホールの特性と文化的価値の再認識を促す事業。 【効果】文化の鑑賞機会の少ない層には会館への来場のきっかけとなるとともに、音楽活動者の発表の場の創出や、鑑賞者が活動者に発展する等、文化の愛好者・活動者の拡大につながり、ひいては記念会館とまちなかの賑わいの創出につながる。 【ターゲット】 10～70歳代の女性・男性	記念会館ロビー	(150)
6	適宜	「ロビー・ダンス in 渡辺翁記念会館」 【継続事業】 かつてダンスホール会場としても利用されていた「記念会館ロビー」において実施する「ロビー・ダンス」。「フォークダンス」を実施した第1弾、「モダンダンス」を実施した第2弾に引き続き第3弾は「ダンス・パーティー」をコンセプトに実施する。ロビーの醸し出す雰囲気の良さを再認識していただく事業。	【目的】ホールの特性と文化的価値の再認識を促す事業。 【効果】宇部市においては活動人口の多いダンスグループや個人を対象に参加者を募り、実施することにより、市民の交流の機会と場を創出し、愛好者・活動者の拡大につながり、ひいては記念会館とまちなかの賑わいの創出につながる。 【ターゲット】 ダンス愛好者及び市民全般	記念会館ロビー	(350)

6 その他事業

- 東京2020オリンピック・パラリンピックに関する「文化プログラム」や「市制施行100周年」に係る文化事業への取り組みを視野に入れるとともに、国や市などの施策を踏まえ、財団運営における中長期的な期間を見据えた指針となる計画の作成を進める。
- 「第27回UBEビエンナーレ×まちじゅうアートフェスタ2017」に参画し、市及び関連団体と連携し、開催時期を盛り上げる。
- 「まちなか市民★きらめきギャラリー」の利用促進を引き続き進めながら、「にぎわい字部」の多世代交流スペースや川崎美術館との有機的な連携を図る。
- 記念会館及び文化会館以外の文化活動ができる近隣の施設とも連携して展示やコンサートなどを実施し、まちなかの賑わい創出にも貢献していく。

●【その他事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名/実施概要	【目的】【効果】	会場	事業費
1	適宜	<p>「展示等文化活動支援事業」</p> <p>【継続事業】</p> <p>記念会館・文化会館以外で展示やコンサートなどが可能な近隣施設と連携して実施する。</p> <p>*宇部新川駅(会館・ギャラリー・川崎美術館)～市役所周辺(宇部井筒屋等)の間で行われる市民向けの企画展示等に対する支援</p>	<p>【目的】記念会館・文化会館だけでなく、展示やコンサートなどが可能な近隣施設と連携してまちなかの賑わいの相乗効果を図る。</p> <p>【効果】中心市街地に両会館以外の文化活動拠点が増え、市民の認識が高まることにより、鑑賞機会が増え、経験価値が高まることでより豊かな生活及び社会活動につながる。</p>	—	100
2	適宜	<p>「川崎美術館連携事業」</p> <p>【継続事業】</p> <p>「川崎美術館」と隣接の「まちなか市民★きらめきギャラリー」の連携事業。</p>	<p>【目的】ワークショップや教育プログラムの取組を他の文化施設と連携して行うことで、幅広い世代が多様な文化・美術に親しむことができ、両施設の魅力の相乗効果を図れる。</p> <p>【効果】</p> <p>川崎美術館との連携を図ることで、小・中学生の文化・美術の鑑賞機会・体験機会の提供や、幼児から高齢者まで幅広い世代に対する生涯学習活動としての社会教育の場が広がる。</p>	—	100

●市受託事業【その他事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名／事施概要	【目的】【効果】	会場	事業費
1	(目標) 年間 4回程	まちなか市民★きらめきギャラリー事業 「アート・サロン」 【継続事業】 アーティストの作品展示と期間中のト ークセッションやワークショップを実 施する「アート・サロン」を実施する。	【目的】新たなアーティスト の発掘を行い、情報発信 することで、人と人・情報・ アートを結び付ける。 【効果】まちなか市民★き らめきギャラリーの周知や 活性化とまちの賑わい創出 につながる。	ギャラ リー	100